

- 問1 ヤマト王権の支配力が関東地方まで及んでいたことを示す、埼玉県から出土した重要な鉄剣が見つかった古墳を何という？
- 問2 3世紀後半からヤマト王権において、各地の豪族を従えていた最高権力者を何という？
- 問3 3世紀後半から奈良盆地を中心に広がり、各地の豪族を従えて日本列島の広範囲に勢力を及ぼした政治連合は何という？
- 問4 埼玉県稲荷山古墳から出土した鉄剣に、その名が刻まれているヤマト王権の最高権力者は誰？
- 問5 ヤマト王権が、軍事的な指揮権を認めてもらうために使者を送り、鉄資源などの確保を目指した地域はどこ？
- 問6 熊本県から出土した鉄刀の銘文に漢字が刻まれており、当時の日本で漢字が使われていたことを示す古墳を何という？
- 問7 ヤマト王権の支配力が拡大する中、全国に広まった巨大な墳墓の形を何という？
- 問8 5世紀ごろ、渡来人によって大陸から日本へもたらされた、記録を可能にする文字体系を何という？
- 問9 日本各地で首長の墓が作られ、広い範囲で勢力を広げていた当時の政治的なまとまりを何という？
- 問10 6世紀、百済から日本へ正式に伝えられ、日本の政治や文化に大きな影響を与えた宗教を何という？
- 問11 稲荷山古墳などの出土品に名前が刻まれ、その支配が九州から関東まで及んでいたとされる大王は誰？
- 問12 中国の歴史書『宋書』に記されている、ワカタケル大王（雄略天皇）と同一人物と考えられる王を何という？
- 問13 古墳時代に輸入された鉄を利用して作られ、農業生産力を向上させた道具を何という？
- 問14 4世紀から7世紀にかけて近畿地方を中心に勢力を広げた勢力を何という？
- 問15 5世紀ごろ、日本へ移り住み、高度な技術や文化を伝えた人々が由来した朝鮮半島の国家を何という？
- 問16 5世紀後半にヤマト政権の最高権力者が用いた称号を何という？
- 問17 円形と方形を組み合わせた鍵穴のような形をしている、古墳時代に作られた日本最大規模の墓を何という？
- 問18 5世紀ごろ、日本に漢字や経典を伝えたと言われる、百済から来た人物は誰？
- 問19 5世紀のヤマト王権が、外交のために使者を派遣していた中国の王朝はどこ？
- 問20 6世紀、日本への仏教伝来に際して、その導入に賛成した有力な豪族は誰？